

契約・入札基礎研修

— 契約事務を適切に執行するには —

ねらい

契約・入札事務の基礎知識・実務知識について学び、適切な執行を目指す。



講義



個人ワーク



グループワーク



ペアワーク

地方自治体の予算執行の大半は契約を通じて実行されるものであり、契約の透明性・公平性の確保が求められる。

この研修では、実務に精通した講師が契約・入札事務について基本からわかりやすく解説する。

講師



一般社団法人 日本経営協会 講師
弁護士

なかむら たけひと
中村 健人 氏

会 場

松江会場

オンライン受講可

定員50名

日時 6月25日(木) 9:15~16:30
6月26日(金) 9:30~16:15

場所 島根県市町村振興センター

プログラム

1
日
目

午前

1. 契約とは何か
2. 地方公共団体における契約の特則
3. 地方公共団体における契約の種類

午後

4. 地方公共団体における契約の手続
5. 契約書にまつわる実務のポイント

2
日
目

午前

6. 随意契約にまつわる実務のポイント

午後

7. 随意契約の可否に関する判断のポイント(演習)
8. 地方公共団体における特殊な契約
 - ・総合評価一般競争入札
 - ・公募型プロポーザル
 - ・PFI

対 象

- 全ての所属
- 新採～中堅職員(特に契約・入札事務の担当職員)

こんな方におすすめ!

- ◎ 契約事務を担当している
- ◎ 契約事務の経験が3年未満である
- ◎ 担当経験は3年以上だが、改めて基礎から学び直したい

研修担当より

* 「契約・入札実務研修」については、より基礎的な内容への要望が多かったため、今年度は新たな講師を迎えて「基礎研修」として実施します。